

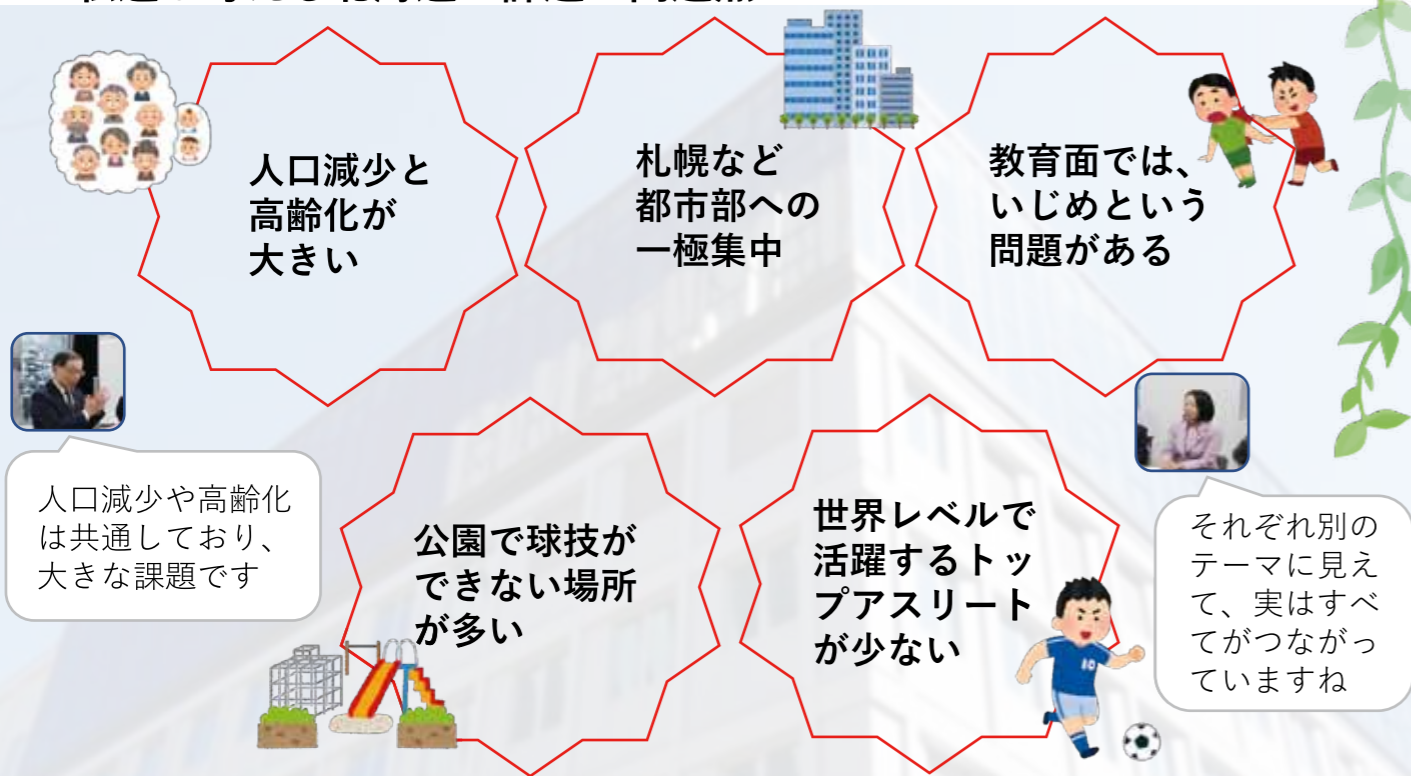
懇談会テーマ

あなたが道議会議員になったら、 どんなことをしたいですか？



グループA

私達が考える北海道の課題・問題点



私達が行いたいことは

「住みたいと思える北海道づくりです」

- そのためには、
- 地域の魅力を伸ばすこと（豊かな自然、観光資源が多い）
 - 生活課題の改善（スポーツ環境づくり、いじめ対策）
 - 人口流出の抑制（収入面の改善）
 - 新しい働き方の可能性（リモートワーク）

複数の視点による対策が必要！

懇談後の学生の感想（グループA）

様々な視点から北海道の課題が抽出されましたが、どの課題も、暮らしに直結するものばかりであり、どう解決方法を見出していくかは簡単ではないことは理解できました。

しかし、「自分には関係がない」をなくしていくことが、スタートラインだと思います。今、見えている課題は、認識はされていたが、先送りされてきたものも少なくないように感じます。だから、ひとり一人が出来ることを積み上げていく必要があると思います。私達はこれから社会に飛び込みますが、身近な課題には、「自分ならこうする」という気持ちを持って、行動していきます。

議員の皆様方、貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

グループB

私達が考える北海道の課題・問題点



私達が行いたいことは

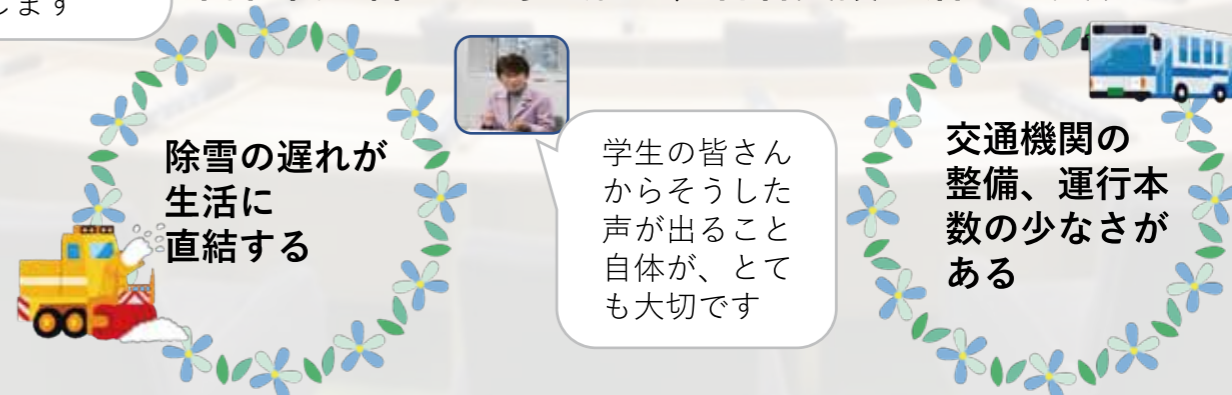
「若者の声を政策に反映させることです」

例えば、

- 若いうちに議員になる
 - ・ 同世代の若者にとって身近で頼りになる存在になる
 - ・ 賃金の引き上げやアルバイト代の改善を公約に
 - ・ SNSを活用し、若者の声や支持を集めることが可能

賃金の問題は生活と直結している、大きなテーマだと感じます

同世代の課題に寄り添い、若者支援の活動を実現する！



懇談後の学生の感想（グループB）

若者の政治参加が課題と言われますが、残念ながら、これまで、若者に寄りそってくれた政治家のイメージはありません。でも、今日、議員の方々とお話をしていると、知識や経験を多くお持ちで、身近に感じることができました。しかし、こうした恵まれた機会は、多くはありません。だからこそ、若者の政治参加を促進するには、まず、政治家の方々が、自分の政策をわかりやすく、伝える努力をするべきだと思います。そして、若者自身も結束して、我々の声を背負う政治家をつくっていくチャレンジが必要だとも感じますし、それが一番の近道のような気がします。

政治の大切さを改めて学ぶことができ、議員の皆様方に、心から感謝申し上げます。

札幌大学 石川講師

学生たちが日頃とは違う表情や姿を見せてくれたことが、教員として、とても印象深く感じられました。

また、普段、接することのない皆様と意見交換ができたことは、学生にとって大きな学びです。学生たちは学生目線での意見だけでなく、地域の一員としての視点や考えもしっかりと持っています。今回得た学びや気づきは大学へ持ち帰り、今後の学業や活動に生かしてくれるものと期待しています。

